

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他動物

維管束植物

蘚苔類

藻類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

文 献

- 1 阿児町グリーンクラブ. 1993. 阿児町植生調査報告書.
- 2 赤井賢成. 三宅 尚. 三宮直人. 小林史郎. 永益英敏. 2005. 高知県室戸市で確認されたカミガモソウ *Gratiola fluviatilis* (ゴマノハグサ科) の新産地とその生育状況. 植物地理・分類研究, 53 (2) : 207-211.
- 3 青木 繁ほか. 1999. 朽木の植物. 滋賀県朽木村教育委員会, 朽木.
- 4 青山 晶. 1993. 東阿倉川イヌナシ自生地. 三重県の天然記念物. 三重生物教育会.
- 5 芦田 馨・山川修吉・森下賢一・加納康嗣・南 正祝. 1997. 赤目溪谷の植物誌. 名張みどりと生き物の会 : 141pp.
- 6 中馬千鶴. 1979. 三重県産種子植物の再検討 (1). 三重生物, (28) : 25-27.
- 7 中馬千鶴. 1980. 神宮宮域林の腐生植物 (1) ウスギムヨウランについて. 植物研究雑誌, 55 (10) : 18-21+1.
- 8 中馬千鶴. 1982. 神宮宮域林の腐生植物 (2) タシロランについて. 植物研究雑誌, 57 (6) .
- 9 Endo, Y. & H. Ohashi. 1986. Variation and infraspecific diversity of *Viciavenosa* (Leguminosae) in Japan : Sci. Rep. Tohoku Univ. 4 th ser. (Biology) 39 : 121-141.
- 10 藤井伸二. 1998. 滋賀県で生育が再確認されたヌマゼリの生態. 植物分類地理, 49 (2) : 201-204.
- 11 藤井伸二. 2008. 三重県座佐池におけるツツイトモの分布記録と生育に関するノート. 水草研究会誌 89: 31-33.
- 12 藤井伸二・市川正人・山脇和也・藤井俊夫. 2010. 紀伊半島におけるソハヤキミズとコケミズ (イラクサ科) の新産地 (新産地報告). 分類, 10 (2) . 163-166.
- 13 藤井伸二・市川正人・吉田國二. 2013. 三重県から記録された希産植物2種: ヒメニラ, マイツルテンナンショウ. 分類13: 129-131.
- 14 藤井伸二・山本和彦. 2007. 三重県におけるツツイトモ (ヒルムシロ科) の新産記録. 水草研究会誌 86: 29-32.
- 15 藤井伸二・山本和彦・市川正人・山脇和也. 2011. オニナルコスゲ (カヤツリグサ科) を三重県から記録する. 分類 11:155-160.
- 16 藤井伸二・山本和彦・狩山俊悟・瀬戸 剛・市川正人・海老原 淳. 2012. 近畿地方新産のヒメキカシグサとその生育環境. 分類12:53-57.
- 17 藤井伸二・吉田國二・山本和彦・市川正人. 2009. ケチドメ (セリ科) を紀伊半島から記録する. 分類 9: 173-177.
- 18 福岡誠行. 2001. エゾミソハギ (ミソハギ科) の無毛品. 国立科博専報, 37 : 169-172.
- 19 福岡誠行・迫田昌宏・三宅慎也・永益英敏. 1993. カミガモソウの新産地. 植物分類地理, 44 : 210-211.
- 20 後藤稔治・菊池多賀夫. 1997. 東海地方の丘陵地にみられるシデコブシ群落とその立地について. 日本生態学会誌47 : 239-247.
- 21 浜島繁隆. 1988. 木曾三川下流域の水生植物. 水草研究会会報, 33・34 : 10-13.
- 22 原 寛. 1976. 東亜植物注解 (1) 7) マルバチシャノキ. 植物研究雑誌, 51 (3) : 71-77.
- 23 Hayasaka, E. & C. Sato. 2004. A new species of *Schoenoplectus* (Cyperaceae) from Japan. J. Jpn. Bot. 79 : 322-325.
- 24 堀江総男. 1968. ムラサキ. 植物と自然, 2 (3) .
- 25 堀内 洋. 2003. 近畿地方に見られるカンガレイ (カヤツリグサ科) について. 南紀生物, 45 : 132-133.
- 26 堀内 洋. 2005. 近畿地方におけるヒメハリイとクロハリイ (カヤツリグサ科) の分布. 水草研究会会報, 83 : 1-5.
- 27 堀内 洋. 2005. 三重県海山町に分布するセイタカハリイ (カヤツリグサ科) について. 南紀生物, 47 : 157-160.
- 28 星野悦子・加田勝敏. 2002. 四日市市南部の植物相 (予報). 自然環境調査研究者制度活動事例集, (1), pp. 9-34. 三重県環境保全事業団, 津.
- 29 星野悦子・加田勝敏. 2003. 四日市市南部の植物相 (I). 自然環境調査研究者制度活動事例集, (2), pp. 1-18. 三重県環境保全事業団, 津.
- 30 星野悦子・加田勝敏. 2004. 四日市市南部の植物相 (II). 自然環境調査研究者制度活動事例集,

- (3), pp.11-30. 三重県環境保全事業団, 津.
- 31 市川正人. 2013. 北勢地域におけるススキに類似のイネ科植物. 自然誌だより, (97) : 2.
- 32 市川正人. 2014. ハタベカンガレイの三重県内新産地. 自然誌だより, (99) : 6.
- 33 市川正人・角田赳宏・渡邊幹男・常木静河・芹沢俊介. 2015. *Bupleurum quadriradiatum* (セリ科) の再発見. シデコブシ, 3 (1) : 5-10.
- 34 員弁高校生物部. 1950. 桑員植物目録. 三重県立員弁高校.
- 35 井波一雄. 1977. 紀伊長島の植物. 三重県紀伊長島町, 紀伊長島, 104pp.
- 36 井波一雄. 1980. オオツルコウジ三重県に産す. レポート 日本の植物 (6) : 49-50.
- 37 伊藤 洋編. 1998. 1998年版埼玉県植物誌. 埼玉県教育委員会, 浦和市 : 833pp.
- 38 伊藤 洋. 1991. 新種アタシカカナワラビ (オシダ科), 植物研究雑誌, 66 (4) : 191-193.
- 39 伊藤武夫. 1951. 三重県産生物目録植物の部. 三重県産生物目録 (三重県生物調査委員会 編), pp.149-295. 三重県生物調査委員会, 津.
- 40 Iwatsuki, K, D. E. Boufford & H. Ohba. 2001. Flora of Japan Vol. II b.
- 41 加田勝敏. 1988. 楠町中央公民館所蔵の明治時代の植物標本目録 (I). 三重生物, (38) : 25-29.
- 42 加田勝敏. 1989. 楠町中央公民館所蔵の明治時代の植物標本目録 (II). 三重生物, (39) : 16-21.
- 43 加田勝敏. 1995. 多度町の植物. たどの自然. 多度町教育委員会.
- 44 加田勝敏. 1997. 三重県の植物分布ノート (1). 北勢自然科学研究会会報 (7), 北勢自然科学研究会.
- 45 加田勝敏. 2005. 三国谷の植物相. 三国谷イワメ調査報告書, pp. 43-81. 三重県, 津.
- 46 加田勝敏. 2008. 鈴鹿市産維管束植物目録. 鈴鹿市の自然—鈴鹿市自然環境調査報告書— (鈴鹿市環境部環境政策課 編), pp.100-242. 鈴鹿市環境部環境政策課, 鈴鹿.
- 47 加田勝敏. 2010. 金生水沼沢植物群落指定地内植物目録2010 金生水沼沢植物群落調査記録 平成22年 鈴鹿市文化課
- 48 加藤雅啓・海老原淳編. 2011. 日本の固有植物. 東海大学出版会, 神奈川, 503pp.
- 49 葛山博次. 1953. 冶田村の植物. 冶田村誌. 冶田公民館.
- 50 葛山博次. 1974. 台高山脈北部・飯高町の植物相と植物群落. 台高山脈北部ならびに奥香肌峡一帯自然科学調査報告, pp.99-110. 三重県立博物館, 津.
- 51 葛山博次. 1975. 藤原岳の植物. 中日新聞社.
- 52 葛山博次. 1995. クサレダマを県内で初記録 (1966. 8月23日採集、植物採集ニュースに発表). たどの自然, 多度町教育委員会.
- 53 葛山博次. 1995. 多度のイヌナシ自生地. たどの自然, 多度町教育委員会.
- 54 葛山博次・葛岡知恵. 2002. シロシヤクジョウ新生育地について. (財)三重県環境保全事業団研究報告, (8), pp.131-133. 三重県環境保全事業団, 津.
- 55 葛山博次・葛岡知恵. 2003. 三重県におけるアイアシの分布と植生. (財)三重県環境保全事業団研究報告, (9), pp.35-47. 三重県環境保全事業団, 津.
- 56 川口三好次. 1972. 尾鷲の植物誌 (シダ篇). 尾鷲の自然を守る会, 尾鷲, 41pp.
- 57 川口三好次. 1979. 尾鷲の植物誌 (種子植物篇). 尾鷲市教育委員会, 170pp.
- 58 川添昭夫. 2008. 三重県内初記録キンボウゲ科スズムシバナ. 藤原岳自然科学館報藤原岳, 30 : 22.
- 59 川添 護. 1982. 藤原岳のシダ植物. 三重生物, (32) : 6-9.
- 60 川添 護. 1993. 多度のイヌナシ自生地. 三重の天然記念物. 三重生物教育会.
- 61 木村裕之. 1994. 菰野町田光のシデコブシ群落について. 三重生物, (44) : 20-26.
- 62 木下慶二. 1989. 紀伊半島産カンアオイ属の一新種. 植物地理・分類研究, 37 (2) : 69-70.
- 63 北村四郎, 村田 源. 1971. コケモモ. 原色日本植物図鑑 (木本編 I), pp.124-125. 保育社, 大阪.
- 64 小林秀樹. 1968. 三重県の海岸植物. 三重生物, (18) : 33-41.
- 65 小菅桂子・田村道夫. 1988. 日本産のシロカネソウ属. 植物分類地理, 39 : 37-46.
- 66 小山博滋・國府方吾郎. 1998. オオツルコウジの分類学上の位置. 国立科博専報, 31 : 123-134.
- 67 倉田 悟. 1979. 日本産羊葉植物論文選集. 日本シダの会.
- 68 黒川喬雄. 1958. 興味ある野外植物の観察と実験 (その4). 三重生物 (8) : 32-33.

哺乳類

鳥 類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝 類

甲殻類

その他動物

維管束植物

藓苔類

藻 類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他動物

維管束植物

蘚苔類

藻類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

- 69 黒川喬雄. 1960. 伊賀地方産植物目録. 三重県立上野高校.
- 70 Maeda, T., C. Sato & A. Uchino. 2004. Variation of *Schoenoplectus gemmifer* in Morphological comparison with *S. mucronatus* and *S. triangulatus*. J. Jap. Botany., 79 : 29–42.
- 71 前川文夫. 1933. 日本産かんあおい類解説. J. Jap. Botany. , IX 8 : 18–21.
- 72 孫福 正. 1954. 私の姓を冠した植物. 三重生物, (5) : 27–30.
- 73 孫福 正. 1971. 三重県シダ植物総目録 (II). 三重生物, (21) : 38–50.
- 74 孫福 正. 1972. 三重県植物雑録 (10). 三重生物, (22) : 49–52.
- 75 孫福 正. 1985. 三重県植物雑録 (15). 三重生物, (35) : 13–16.
- 76 砂子 剛. 1982–1984. ふるさと伊賀の今は昔 (3–12). いがざさ, 三重生物教育会伊賀支部, (3–14).
- 77 松本 功. 2009. 南伊勢町でムカゴサイシンを確認. 自然誌だより, (79) : 3.
- 78 三重県立博物館. 2003. 三重県立博物館収蔵資料 服部哲太郎植物標本. 三重県立博物館. 津, 87pp.
- 79 三重県立博物館. 2003. 三重県立博物館収蔵資料 筒井養之助植物標本. 三重県立博物館, 津, 254pp.
- 80 三重シダの会. 1989. 三重県のシダ植物. 三重県良書出版会, 津, 188pp.
- 81 南川 幸. 1963. 鈴鹿山脈森林植生の研究. 鈴鹿山脈自然科学調査報告書, pp.311–436. 三重県自然科学研究会, 津.
- 82 南川 幸. 1990. 三重県で新たに見出されたシデコブシの自生地とシデコブシ群落の構成. 日本生物地理学会会報, 45 (22) : 137–143.
- 83 南川 幸・清水 実. 1962. イナベアザミの基準産地および周辺における分布と生態. 関西自然科学, (15) .
- 84 南川 幸・矢頭 献一. 1972. 大杉谷森林植生の植物生態学的研究. 大杉谷・大台ガ原自然科学調査報告書, pp.11–47. 三重県自然科学研究会, 津.
- 85 水谷盛立. 1937. 北勢植物目録. 富田中学校, 四日市, 38pp.
- 86 持田 誠・片桐浩司・高橋英樹. 2004. 北海道におけるコバノヒルムシロの再発見と分布記録の整理. 分類 4 : 41–48.
- 87 森本範正. 2012. 奈良県樹木分布誌. 私刊, 天理 : 284 pp.
- 88 村井俊郎. 2004. オニバス 再発見の経緯. 自然誌だより, (62) : 6.
- 89 村田 源. 2001. オナモミについて. 山梨植物研究, (14) : 1–5.
- 90 村田 源. 2004. 近畿地方植物誌. レッドデータブック近畿研究会. 特定非営利活動法人大阪自然史センター. 大阪. 257pp.
- 91 村田吉兵衛. 1940. 北勢菰野山植物目録. 村田植物研究所万木草堂, 74pp.
- 92 名張の自然を調べる会. 2002. なばりの自然. 名張の自然を調べる会, 名張, 60pp.
- 93 永益英敏. 1992. クロミノニシゴリの分布. 植物分類地理, 43 (2) : 169–170.
- 94 長野県植物誌編纂委員会. 1997. 長野県植物誌. 信濃毎日新聞社, 長野, 1735pp.
- 95 Naiki, A. 2008. Breeding system in *Mussaenda shikokiana* (Rubiaceae). Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 62 : 21–26.
- 96 中 優. 2003. 松阪市・多気町・玉城町のため池における水草の分布. (財) 三重県環境保全事業団研究報告, (9) , pp.27–34. 三重県環境保全事業団, 津.
- 97 中井猛之進. 1911. フキヤミツバ新撰植物図編・第I編. 第1集, 第1図.
- 98 中西弘樹. 1979. ハマナツメ群落の分布と生態. 植物分類地理 32 : 105–113.
- 99 中西弘樹・川内野善治. 1994. カミガモソウの新産地とその形態. 植物分類地理, 45 : 169–171.
- 100 奈良県レッドデータブック策定委員会 (編). 2008. 大切にしたい奈良県の野生動植物 奈良県版レッドデータブック 植物・昆虫編. 奈良県農林部森林保全課, 奈良, 427pp.
- 101 鳴橋直弘. 1971. アワコバイモとミノコバイモ. 植物分類地理, 25 (1) : 9.
- 102 鳴橋直弘. 1973. クロユリの仲間. 新花卉, (78) .
- 103 日本シデコブシを守る会. 1996. シデコブシの自生地. 日本シデコブシを守る会, 瑞浪市, 217pp.
- 104 織田二郎・山本修平・市川正人・永益英敏. 2010. 紀伊半島におけるミヤマカンスゲ類の分布. 10 (1) : 63–70.
- 105 大洞浩一. 2013. 熊野地方のシダ植物誌 I. 熊野誌 60:45–65.

- 106 岡 与一. 1972. 伊賀地方湿地植物採集会報告. 三重生物, (22) : 61-62.
- 107 大谷勝治. 2011. モンゴリナラが三重県にも自生. 自然誌だより, (87) : 1.
- 108 坂部元宏. 1996. 多気町成川に分布するマメナシの実の大きさ. 三重生物, (46) : 43.
- 109 Sato, C., T. Maeda & A. Uchino. 2004. A New species of *Schoenoplectus* Sect. *Actaeogeton* (Cyperaceae). *J. Jap. Botany.*, 79 : 23-28.
- 110 佐藤義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫(編). 1982. 日本の野生植物. 草本 I ~ III. 平凡社, 東京.
- 111 清水 実. 1964. 藤原岳およびその周辺のアザミ. 三重生物, (14) : 26.
- 112 Shimizu T. 2009. *Carex benkei*, a New Species of *Carex* (Cyperaceae) from Japan and China. *Acta Phytotax. Gebot.* 60 (1) : 41-46.
- 113 須田大樹・星野義延. 2008. 北関東におけるフモトミズナラの葉・堅果・殻斗の形態について. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (2) : 19-26.
- 114 菅沼孝之・鶴田正人. 1975. 大台ヶ原・大杉谷の自然. ナカニシヤ出版, 京都, 259pp.
- 115 杉本順一. 1979. 日本草本植物総検索誌III シダ編. 井上書店, 東京, 481pp.
- 116 杉野孝雄・諸井芳太郎. 1969. 浮水シダ植物2題. 植物と自然, 3 (2) .
- 117 Suyama, C. & K. Ueda. 2005. A New Variety, *Scabiosa japonica* var. *brevugula* (Dipsacaceae) from Tokai District, Central Japan. *J. Jap. Botany*, 80. (1) : 14-21.
- 118 高宮正之. 1999. ミズニラ属の自然誌と分類. 植物分類地理, 50 : 101-138.
- 119 武田明正・渡邊定元. 1997. 三重県のイタカムシトリスミレ(新変種)の群落維持機構. 植物研究雑誌, 72 (4) : 229-237.
- 120 Tanaka, N. 2013. A New Species of *Chionographis* (Melanthiaceae) from Japan. *J. Jpn. Bot.*, 88:30-35.
- 121 津山 尚. 1955. ムヨウラン属の一新種. 植物研究雑誌, 30 (6) : 21-23.
- 122 津山 尚. 1967. 日本およびその付近に産するタシロラン属について. 植物研究雑誌, 42(10) : 137-143.
- 123 Ueda K. 1988. Star Magnolia (*Magnolia tomentosa*)-An indigenous Japanese plant. *J. Arnold Arboretum*, 69 : 281-288.
- 124 植田邦彦. 1989. 東海丘陵要素の植物地理. 植物分類地理, 40 : 5-6.
- 125 和歌山県. 2012. 保全上重要なわかやまの自然-和歌山県レッドデータブック [2012年改訂版]. 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室, 和歌山, 442pp.
- 126 山田耕作. 1989. 孫福正先生採集による新種植物について. 三重生物, (39) : 22-24.
- 127 山田耕作. 1997. 植松栄次郎氏の年譜と業績. 三重生物, (47) : 13.
- 128 山路武夫. 2006. ケブカツルカコソウ. 自然誌だより, (68) : 5.
- 129 山本和彦. 2001. 尾鷲市でヘゴの再発見. 三重自然誌, (7) : 89-90.
- 130 山本和彦. 2008. 私のフィールドノートから ~三重県内におけるハマナツメの分布. 自然誌だより, (77) : 2-5.
- 131 山本和彦. 2012. 須賀利大池(三重県尾鷲市)におけるシカ食害にともなうハマナツメ群落の衰退. 植生学会第17回大会講演要旨集.
- 132 山本和彦・市川正人. 2012. 三重県におけるシマエンジュの発見とその現状. 分類, 12 : 63-67.
- 133 山崎敬. 1993. クロヅルについて. 植物研究雑誌 68 (6) : 363-366.
- 134 矢頭献一. 1956. 紀伊長島の大島にオオタニワタリが見つかった. 日本シダの会会報, 23 : 117.
- 135 矢頭献一. 1963. 鈴鹿山脈の松柏類. 鈴鹿山脈自然科学調査報告書, pp.437-442. 三重県, 津.
- 136 矢頭献一. 1965. 伊勢志摩国立公園の植物 I 英虞湾周辺および先島半島地区. 志摩の自然: 伊勢志摩国立公園自然科学調査書, pp.23-30. 三重県, 津.
- 137 矢頭献一. 1969. イヌナシ(バラ科). 三重生物, (19) : 1.
- 138 矢頭献一. 1969. 三重大学平倉演習林の種子植物目録. 三重大学農学部演習林資料, No.3 : 1-48.
- 139 矢頭献一. 1972. 大杉谷産植物目録. 大杉谷・大台ヶ原自然科学調査報告書, pp.49-72. 三重県自然科学研究会, 津.
- 140 矢頭献一・葛山博次. 1975. 父ヶ谷一帯における分布上注目すべき植物. 宮川揚水発電計画に伴う父ヶ

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他動物

維管束植物

苔蘚類

藻類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他動物

維管束植物

蘚苔類

藻類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

谷地域自然環境調査報告書, pp.93–122. 三重県自然科学研究会, 津.

- 141 四日市教育委員会社会教育課. 1983. 国指定天然記念物御池沼沢植物群落環境整備事業報告書. 四日市教育委員会, 四日市, 264pp.
- 142 遊川知久. 1999. 日本産菌寄生ラン科の新種, モイワラン (*Cremastra aphylla*). 筑波実験植物園研究報告18:59–63.

補遺

- 143 藤井伸二・市川正人. 2010. キンキマメザクラを三重県から記録する. 関西自然保護機構会誌, 32 (2) : 127–129.
- 144 藤井伸二・山本和彦・瀬戸 剛・市川正人・山脇和也. 2007. 奈良県および三重県から見つかったアズマツメクサ (ベンケイソウ科) とその生育環境に関するノート. 水草研究会誌, 86 : 21–25.
- 145 市川正人. 2014. 鈴鹿山系のジンチョウゲ属3種. 自然誌だより, (101) : 4.
- 146 市川正人. 2014. 三重県北限のハマボウ. 自然誌だより, (102) : 3.
- 147 市川正人・山本和彦. 2012. 津市内溜池の植物相. 三重自然誌, (13) : 128–136.
- 148 織田二郎・山脇和也・市川正人. 2014. ビッチュウヒカゲスゲを三重県藤原岳にて確認. 分類, 14 (1) : 59–64.

(2025)

- 149 Ebihara, A., et al. 2016. *Monachosorum arakii* Tagawa (Dennstaedtiaceae) is a Relict "International" Hybrid : A Reassessment of the *Monachosorum* Species. Systematic Botany, 41 (3) : 586–595.
- 150 藤井伸二. 2013. ハマネナシカズラ (ヒルガオ科) の国内分布. 分類, 13:103–107.
- 151 藤井伸二. 2018. 寄主植物を用いたマメダオシ (ヒルガオ科) の生育環境の推定. 植物地理・分類研究 66 (2) : 193–195.
- 152 藤井伸二・梅原 徹・古賀啓一・角野康郎・瀬戸口浩彰. 2008. 近畿地方におけるバイカモの分布に関する追記—滋賀県の移入産地と新産地ほか—. 分類, 8 : 69–72.
- 153 藤井伸二・山本和彦・狩山俊悟・瀬戸 剛・市川正人・海老原 淳. 2012. 近畿地方新産のヒメキカシグサとその生育環境. 分類, 12:53–57.
- 154 長谷川啓一・上野裕介・大城 温・井上隆司・瀧本真理・光谷友樹・遊川知久 (2017) キンラン属 3種の生育環境と果実食害率:保全に向けての課題. 保全生態学研究, 22: 311–321.
- 155 堀 清鷹・澤田達也. 2024. 島根県でイノウエトラノオ *Asplenium varians* (チャセンシダ科) が見つかる. 植物地理・分類研究, 72 (1) : 53–56.
- 156 伊藤元己(代表). 2017. 植物の超塩基性土壌への適応進化: シュンジュギクの比較ゲノム解析. 科学研究費助成事業 研究成果報告書.
<https://kaken.nii.ac.jp/file/KAKENHI-PROJECT-25291085/25291085seika.pdf> (2024年9月参照)
- 157 金光浩伸. 2021. イノウエトラノオとコバノイノウエトラノオを紀伊半島に記録する. 植物地理・分類研究, 69 (2) : 197–201.
- 158 金光浩伸. 2022. これまでのイノウエトラノオの確認状況と識別における留意点. 日本シダの会会報, 4 (40) : 1–6.
- 159 小宮定志・柴田千晶. 1994. 総説ナガバノイシモチソウ. 日本歯科大学紀要 (23) : 125–155.
- 160 黒崎史平・村田 源. 1983. ハイコトジソウについて. 植物分類地理, 34 : 90.
- 161 榊田知穂. 2017. バイカモの三重県内再発見. 自然誌だより (111) 4.
- 162 三重の林業 185: 5, 1982.
- 163 三重自然誌の会編. 2018. みえ生物誌 植物. 三重自然誌の会. 749pp.
- 164 南谷忠志・門田裕一・米倉浩司. 2018. 日本産ミツバツツジ類 (ツツジ科) の分類 (1). J.Jpn Bot, 93 (2) : 75–103.
- 165 南谷忠志・門田裕一・米倉浩司. 2019. 日本産ミツバツツジ類 (ツツジ科) の分類 (2). J.Jpn Bot, 94 (4) : 231–236.
- 166 村田 源. 2009. 近畿地方植物誌補遺・訂正ノート5. 近畿植物同好会々誌, 32 : 17
- 167 村田美空・辻田有紀. 2020. 薬剤散布によるランミモグリバエの防除. 佐賀大学農学部彙報, 106:

- 15–21.
- 168 中西弘樹. 2008. ハマジンチョウ. 海から来た植物, pp.126–129. 八坂書房, 東京.
- 169 中西弘樹. 2018. 日本の海岸植物図鑑. トンボ出版, 大阪, 271pp.
- 170 Oda J., et al. 2020. A Taxonomic Study of *Chrysosplenium album* (Saxifragaceae) in the Kii Peninsula, Japan. *J. Japanese Botany* 95(4): 193–210.
- 171 レッドデータブック近畿研究会 (編著). 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物—レッドデータブック近畿2001. 財団法人平岡環境科学研究所, 川崎. 164pp.
- 172 芹沢俊介. 2015. 本州中部産ハコベ属の1新種ツカモトハコベ. シデコブシ, 3 : 1–4
- 173 白鳥秀一・常木静河・花井隆晃・清田佳奈・芹沢俊介. 2017. 本州中部地方におけるマツムシソウ頭花形態の地理的変異. 分類, 17 (2) : 147–158.
- 174 Suetsugu K, Fukushima S, Sueyoshi M. 2018. Substantial impact of seed-feeding fly on seed production of five endangered Japanese orchids. *Ecology*, 99: 2871–2873.
- 175 Sugawara, T. 1992. A Taxonomic Study of *Heterotropa nipponica* and *H. savatieri* ssp. *pseudosavatieri* (Aristolochiaceae) in the Shima Peninsula. *Acta Phytotax. Geobot.* 43 (1): 15–26.
- 176 坪井諒介. 2018. いなべ市内の植物相. 藤原岳自然科学館館報 藤原岳, 40 : 18–35
- 177 坪井諒介. 2020. いなべ市内の植物相 (II). 藤原岳自然科学館館報 藤原岳, 42 : 1–21
- 178 津軽俊介. 2008. 標本に学ぶ. *Bunrui* 8(2): 109–121.
- 179 KANA WATANABE-TOMA, JIN MURATA AND TETSUO OHI-TOMA 2021 *Arristolochia kaempferi* var. *laevipes* (Aristolochiaceae) : A New Variety from the Ise-Shima and Owari Regions, Japan *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 72(3)281–287(2021)
- 180 渡邊—東馬加奈・邑田 仁・大井—東馬哲雄. 2022. 伊勢志摩及び尾張に分布するオオバウマノスズクサの新変種イセノウマノスズクサ. 植物地理・分類研究, 70 (1) : 103–104.
- 181 山本和彦. 2020. 紀伊半島におけるシマエンジュの新たな産地. 南紀生物, 62 (1) : 56–57.
- 182 山本和彦・藤井伸二. 2016. 和歌山県および紀伊半島におけるハマナツメの分布. 南紀生物, 58 (2) : 121–125.
- 183 山脇和也・織田二郎・大森裕子・権藤啓子. 2014. キイハナネコノメを三重県の紀宝町で2013/03/22初記録. 近畿植物同好会々誌, 37 : 25–26.
- 184 遊川知久. 2015. ラン科 改訂新版日本の野生植物 1, pp.178–231. 平凡社. 東京.

(2025 への追加)

- 185 福永裕一・谷 幸子・山本孝寿・尾添宏進・澤進一郎. 2022. トサノクロムヨウラン (ラン科) を和歌山県に記録する. 植物地理・分類研究, 70(2) : 197–200.
- 186 福永裕一・原 浩一・澤進一郎. 2024. トサノクロムヨウラン (ラン科) を大分県に記録する. 植物地理・分類研究, 72 (1) : 35–38.
- 187 Suetsugu, K., C. Shimaoka, H. Fukunaga and S. Sawa. 2018. The taxonomic identity of three varieties of *Lecanorchis nigricans* (Vanilleae, Vanilloideae, Orchidaceae) in Japan. *PhytoKeys* 92:17–35.

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他動物

維管束植物

蕨苔類

藻類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD